

in monkey caudate nucleus during bar pressing feeding behavior, *ibid*, 1980. 7, Budapest.

9) Oomura Y. and Ono T.: Neuronal activity in motivation feeding behavior, *ibid*, 1980. 7, Budapest.

10) 福田正治, 佐々木和男, 村本健一郎, 西野仁雄, 小野武年, 大村 裕: ラット脳切片における満腹中枢ブドウ糖受容ニューロン, 第27回生理学中部談話会, 1980. 10, 富山.

11) 佐々木和男, 福田正治, 村本健一郎, 西野仁雄, 小野武年: 自由行動下ラット摂食中枢ニューロンの活動, *ibid*, 1980. 10, 富山.

12) 大村 裕, 西野仁雄, 小野武年, 佐々木和男, 福田正治: 摂食行動におけるアカゲザル前頭前野ニューロンの活動, *ibid*, 1980. 10, 富山.

13) 村本健一郎, 福田正治, 佐々木和男, 西野仁雄, 小野武年: サルのオペラント摂食行動と摂食中枢ニューロンの活動, *ibid*, 1980. 10, 富山.

14) 小野武年, 西野仁雄, 佐々木和男, 福田正治, 村本健一郎: 食物の識別・動因および報酬と摂食中枢ニューロン活動, 第1回肥満研究会, 1980. 10, 東京.

ture (London) 283: 100-102, 1980.

2) Nose K. and Okamoto H.: Transcriptional Activity of Nuclei from WI-38 Cells at various Passages, *J. Cell. Physiol.* 102: 51-54 and 1980.

3) Nose K., Okamoto H.: Specific Inducibility of Globin mRNA in Friend Leukemia Cells in Low Serum Concentration, *GANN* 71: 80-83, 1980.

4) Yamamoto H. and Okamoto H.: Protection by Picolinamide, a Novel Inhibitor of Poly (ADP-ribose) Synthetase, against both Streptozotocin-Induced Depression of Proinsulin Synthesis and Reduction of NAD Content in Pancreatic Islets, *Biochem. Biophys. Res. Commun.* 95: 474-481, 1980.

5) 岡本 宏: インスリン合成の新しい調節機構, 医学のあゆみ, 特集 I-3 113: 545-548, 1980.

◆ 総 説

1) 伊藤信行, 岡本 宏: インスリン遺伝子の構造とその発現機構, *Diabetes Journal* 8: 131-138, 1980.

2) 野瀬 清, 岡本 宏: 真核細胞メッセンジャーRNA の分離と精製, 代謝 17: 83-91, 1980.

◆ 学会報告

1) 山本 博, 岡本 宏: Streptozotocin 糖尿病発症機構についての新しい考え方, 第23回日本糖尿病学会, 1980. 7, 名古屋.

2) 山本 博, 河村明典, 伊藤信行, 岡本 宏, 柿崎正栄, 後藤由夫: 自然発症糖尿病ラット及び飢餓ラット分離ランゲルハンス島のインスリン合成能の亢進について, 第23回日本糖尿病学会, 1980. 7, 名古屋.

3) 岡本 宏: インスリン合成の新しい調節機構とその生理的意義, 第18回河口湖カンファレンス, 1980. 8, 河口湖.

4) 岡本 宏, 伊藤信行, 野瀬 清, 山本 博: インスリン合成の新しい調節機構 (Translational Control) とその意義, 第53回日本生化学会大会, 1980. 10, 東京.

5) 河村明典, 山本 博, 伊藤信行, 岡本 宏: 飢餓ラットから分離したランゲルハンス島のインスリン合成能の亢進とその機構, 第53回日本生化学会大会, 1980. 10, 東京.

6) 山本 博, 河村明典, 谷村正人, 岡本 宏:

生 化 学 (1)

教 授	岡 本	宏
助 教 授	野 瀬	清
助 手	伊 藤	信 行
助 手	山 本	博 子
文部技官	澤 田	則 子

◆ 著 書

1) 岡本 宏: インスリン合成の新しい調節機構 (Translational Control) とその意義, 17-20, 糖尿病, 小坂樹徳編, 医歯薬出版, 1980.

2) 岡本 宏: トリプトファン代謝と糖尿病ビタミン学, 2: 284-289, 東京化学同人, 1980.

3) 野瀬 清: グロビン遺伝子転写の制御, 139-159, 生体制御, 水野伝一編, 共立出版, 1980.

4) Okamoto H.: Regulation of Proinsulin Synthesis in Pancreatic Islets and A New Aspect to Insulin-Dependent Diabetes, *Mol. Cell. Biochem.*, Dr. W. Junk, b. v. Publishers, The Hague, The Netherland, 1980.

◆ 原 著

1) Itoh N. and Okamoto H.: Translational Control of Proinsulin Synthesis by Glucose, Na-

Poly ADPR 合成酵素阻害物質による Proinsulin 合成低下の防止, 第53回日本生化学会大会, 1980. 10, 東京.

7) 野瀬 清, 田中厚子, 岡本 宏: フレンド白血病細胞クロマチンのグロビン遺伝子の RNA ポリメラーゼ II による転写, 第53回日本生化学会大会, 1980. 10, 東京.

8) 伊藤信行, 大島靖美, 野瀬 清, 大石 園, 岡本 宏: 分離ランゲルハンス島のプロイスリン遺伝子転写活性に及ぼす Glucose の影響, 第53回日本生化学会大会, 1980. 10, 東京.

9) 野瀬 清, 岡本 宏: 培養ヒトセイ芽細胞 DNA と化学発癌剤との結合のクロマチンレベルでの解析, 第39回日本癌学会総会, 1980. 11, 東京.

10) 野瀬 清, 岡本 宏: フレンド白血病細胞クロマチンにおけるグロビン遺伝子の転写, 第39回日本癌学会総会, 1980. 11, 東京.

11) Nose K., Tanaka A. and Okamoto H.: Transcriptional Activity of Globin Genes in Uninducible Variants of Friend Leukemic Cells, Second International Congress on Cell Biology, 1980. 9, Berlin (West Germany).

生 化 学 (2)

教 授 藤 岡 基 二
助 教 授 小 川 宏 文
助 手 五 味 知 治
文部技官 高 田 義 美

◆ 著 書

1) 藤岡基二: リシンの代謝, 生化学データブック 2 巻別冊, 46-48, 日本生化学会編, 東京化学同人, 1980.

◆ 原 著

1) Fujioka M., Takata Y., Ogawa H. and Okamoto M.: The inactivation of saccharopine dehydrogenase (L-lysine-forming) by diethyl pyrocarbonate. *J. Biol. Chem.* **255**: 937-942, 1980.

2) Ogawa H., Hase T. and Fujioka M.: Amino acid sequence of a peptide containing an essential cysteine residue of saccharopine dehydrogenase (L-lysine-forming). *Biochim. Biophys. Acta* **623**: 225-228, 1980.

3) Ogawa H. and Fujioka M.: The reaction of pyridoxal 5'-phosphate with an essential lysine residue of saccharopine dehydrogenase

(L-lysine-forming). *J. Biol. Chem.* **255**, 7420-7425, 1980.

◆ 学 会 際 告

1) 高田義美, 藤岡基二: サツカロピン・デヒドロゲナーゼの 2, 3-ブタンジオンによる失活, 第35回日本生化学会中部支部会, 1980. 9, 津.

2) 高田義美, 藤岡基二: ラット肝 S-adenosyl-homocysteine hydrolase: 精製と性質, 第53回日本生化学会大会, 1980. 10, 東京.

3) 五味知治, 広田憲二, 岸本隆太郎, 中川八郎: アンドロゲン受容体のステロイド結合特異性とその調節, 第53回日本生化学会大会, 1980. 10, 東京.

病 理 学 (1)

教 授 北 川 正 信
助 教 授 三 輪 淳 夫
助 手 村 井 嘉 寛

◆ 著 書

北川正信: 5, 石綿の生体影響 5. 3, 病理, 48-55, 及び 6, 一般住民の石綿曝露 6. 2, 病理学的評価, 102-105, 大気中発がん物質のレビュー 石綿 (昭和54年度環境庁委託業務結果報告書), 日本科学技術情報センター, 1980.

◆ 原 著 (第 3 輯記載洩れを含む)

1) Saito Z., Sakato S., Fujita S., Hashiba T., Miyamoto M., Takeda R., Kitagawa M. and Matsubara F.: A dehydroepiandrosterone-producing adrenocortical carcinoma in a non-virilized elderly woman. *Alabama J. Med. Sci.* **16**: 374-381, 1979.

2) 太田陽一, 木元春生, 泊 康男, 瀬尾迪夫, 熊沢年泰, 北川正信, 村田敏夫: 特発性胆嚢穿孔の 1 例, *臨床外科* **35**: 257-260, 1980.

3) 中沼安二, 山谷真己, 太田五六, 勝田省吾, 北川正信, 松原藤継, 土井下建治, 高柳尹立, 渡辺駿七郎, 赤川直次, 吉沢浩司: 特発性門脈圧亢進症にみられる肝内胆管病変, *日消誌* **77**: 603-608, 1980.

4) 太田陽一, 岩瀬孝明, 泊 康男, 瀬尾迪夫, 北川正信: 直腸子宮内膜症の 1 例, *最新外科* **1**: 77-80, 1980.

5) 藤野茂樹, 渡辺洋宇, 佐藤日出夫, 岩 喬, 松原藤継, 北川正信: 心タンポナーデを呈した良性縦隔奇形腫の 1 治験例, *日胸疾会誌* **18**: 649-653, 1980.